



**YAMAHA**  
*Clavinova.*

**MUSIC  
LABORATORY  
SYSTEM**

**MLC-2**

**取扱説明書**

このたびは、ヤマハMLC-2をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

MLC-2は、音楽教育の豊富なノウハウと先進のエレクトロニクス技術を結集して完成した、ヤマハ・ミュージック・ラボラトリー・システムの調整卓です。

本書では、MLC-2の優れた性能を十分に発揮させるとともに、長年支障なくご使用いただけますよう、取り扱い方法を分かりやすく説明しています。ご使用前に、ご一読ください。

## この取扱説明書の見方

本書は、標準的な指導手順を想定して、学習目的に合わせた操作方法の手順を説明しています。従って、基本的には前の方から順にご覧ください。

## もくじ

	ページ		ページ
特 徴	1	ペアによるアンサンブル指導	9
教室内配置例	2	4人合奏によるアンサンブル指導	11
ご使用前に	2	8人合奏によるアンサンブル指導	13
各部の名称とはたらき	3	音素材	14
操作のしかた		模範演奏	15
一斉指示による全体学習	5	メモリー	16
ブロック別指示による学習指導	6	コミュニケーション	16
個人別学習指導	6	仕 様	17
自動検聴	7	アフターサービスと保証	18

## 特 徴

### 相互通信のコントロールができます

指導者用楽器(親機)と生徒用楽器(子機)との間の演奏のやりとりや会話をコントロールして、集団学習の中でも円滑な個別指導ができます。

### 合奏編成が簡単にできます

2人、4人、8人の合奏の組み合わせを簡単に編成することができ、表示ランプの点灯により教室内の合奏編成状態を一目で確認することができます。

### 生徒の演奏を次々と自動的に聴けます

全員または指定したあるブロックの生徒の演奏を、自動的に次々と検聴することができます。検聴時間は3秒、6秒、9秒の中から選ぶことができ、任意の生徒の演奏を希望する時間だけ検聴することもできます。

### 2種類のソース(音素材)を生徒に聴かせることができます

指導者の楽器の音、または外部入力からの音を各ブロックの生徒に聴かせることができます。各ブロックへはどちらの音も別々に聴かせることができますから、教室内を2つに分けて別々の指導をすることも可能となります。

### 生徒の呼び出しに答えることができます

質問などのある生徒の呼び出しに答えて、個別またはその生徒のいるグループ全員に指導することができます。

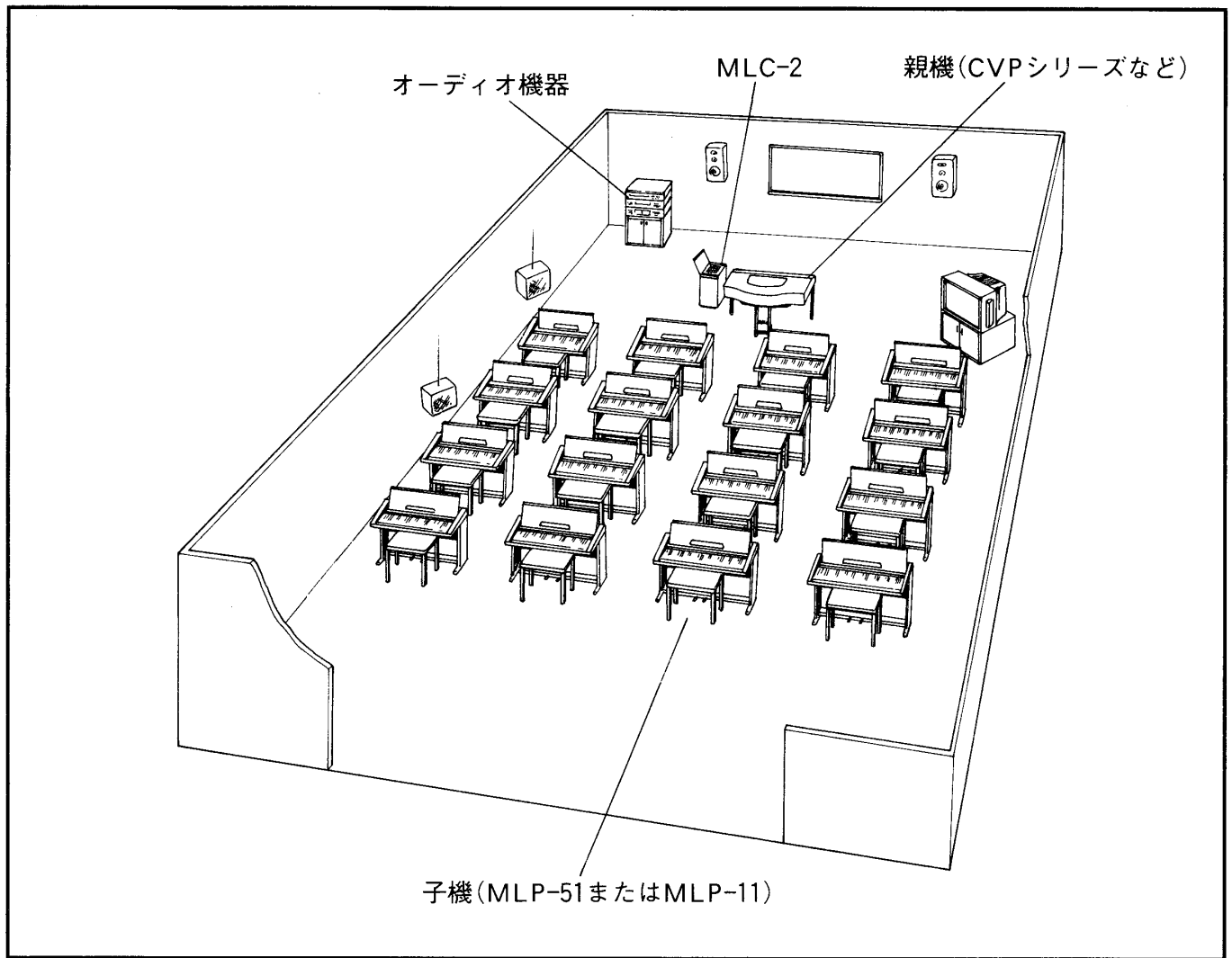
### 現在の状態をメモリーできます

現在の合奏編成や音素材の選択などの設定を2種類までメモリーすることができます。メモリーしておけば、別の編成をした後でもすぐに前の状態に戻すことができます。

### ある生徒またはグループの演奏を他の生徒に聴かせることができます

お互いの練習成果の発表や模範演奏として効果的に活用することができます。

# 教室内配置例



## ご使用前に



### 設置場所

- 次のような場所でご使用になりますと、故障などの原因となりますのでご注意ください。
- ・窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
  - ・温度の特に低い場所
  - ・湿気やホコリの多い場所
  - ・振動の多い場所



### お取り扱い

物をぶついたり、上に乗るなど、乱暴に扱わないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。



### 電源の処理

ご使用後は電源スイッチを切ってください。



### 外装のお手入れ

お手入れは、乾いた布でカラダギスするか、汚れのひどい時は少し水で湿らせた布でふいてください。

アルコールやシンナー類は、絶対に使用しないでください。また、ビニール製品を上に乗らないでください。



### 他の電気機器への影響

ラジオやテレビを近くで使用しますと、ラジオやテレビに雑音が発生したり、誤動作することがあります。十分に離して使用してください。



### 保証書の手続き

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きをとってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも修理の費用をいただくこととなりますので、充分ご注意ください。



### 保管

この取扱説明書をお読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

# 各部の名称とはたらき

## コントロール部

### 音素材

- A 指導者ボタン (→14ページ)
- B 外部入力ボタン (→14ページ)

ブロック表示ランプ  
(→13ページ)

ペア表示ランプ  
(→9ページ)

### 自動検聴

- ブロックボタン (→8ページ)
- 全体ボタン (→7ページ)
- 出欠ボタン (→7ページ)
- 休止ボタン (→8ページ)
- 検聴時間ボタン (→7ページ)

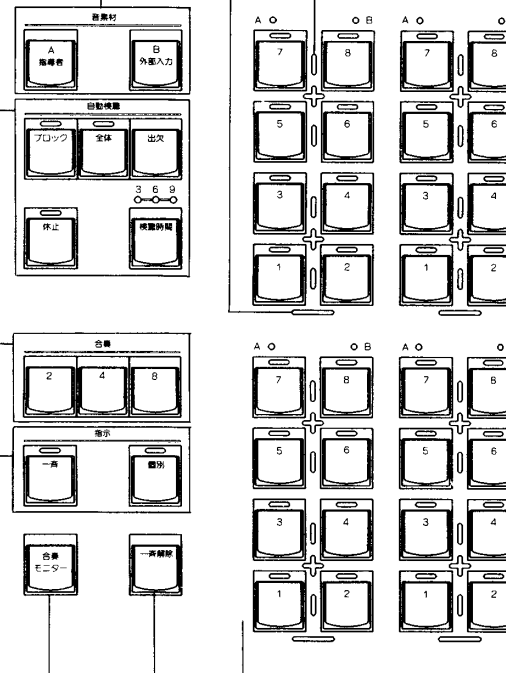
### 合奏

- 2ボタン (→9ページ)
- 4ボタン (→11ページ)
- 8ボタン (→13ページ)

### 指示

- 一斉ボタン (→5、6ページ)
- 個別ボタン (→6、10、12、13ページ)

**YAMAHA MLC-2**  
MUSIC LABORATORY SYSTEM

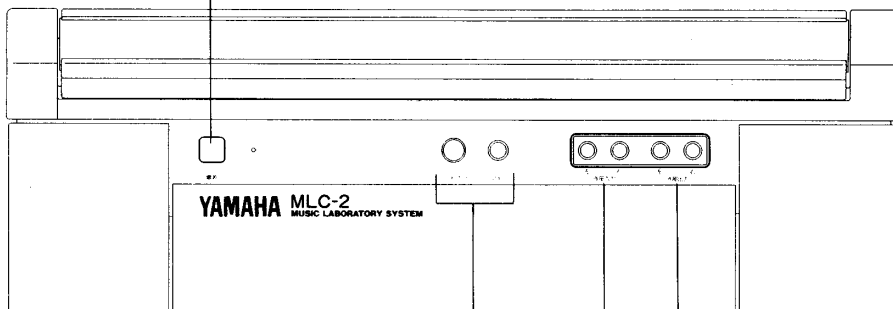


## 正面部

電源スイッチ (→5ページ)

一斉解除ボタン (→9、11、13ページ)

合奏モニターボタン (→10、12、13ページ)



外部出力端子

オーディオ装置などと接続します。

外部入力端子

他の楽器やオーディオ装置などと接続します。

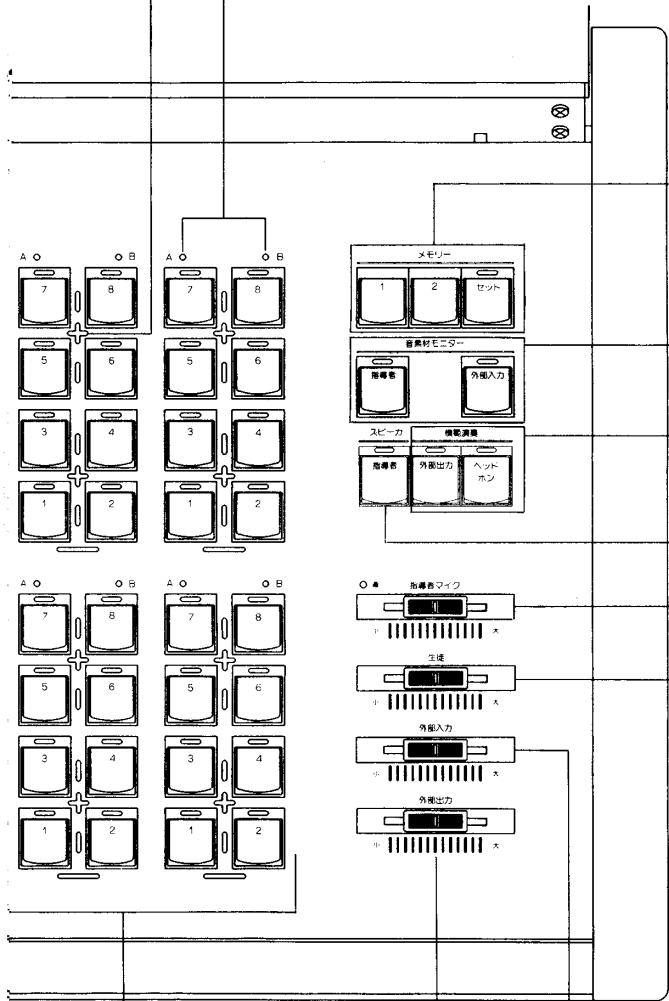
ヘッドホン端子、マイク端子

マイク付きヘッドホンを接続します。

→マークのところにくわしく説明してあります。

4人グループ表示ランプ (→11ページ)

音素材表示ランプ (→14ページ)



メモリー

1ボタン (→9、16ページ)

2ボタン (→11、16ページ)

セットボタン (→16ページ)

音素材モニター

指導者ボタン (→14ページ)

外部入力ボタン (→14ページ)

模範演奏

外部出力ボタン (→15ページ)

ヘッドホンボタン (→15ページ)

スピーカー

指導者ボタン (→15ページ)

指導者の楽器本体のスピーカーから音を出す時は、このボタンを押してランプを点灯させてください。

指導者マイクボリューム、適ランプ (→5ページ)

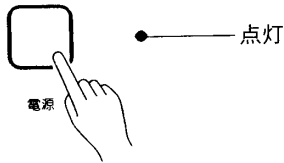
生徒ボリューム (→6ページ)

子機選択ボタン

外部入力ボリューム (→14ページ)

外部出力ボリューム (→15ページ)

まず電源を入れてください。



◆電源スイッチをもう一度押すと、電源が切れます。

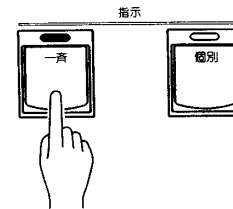
## 一斉指示による全体学習

### 授業展開例

1. 学習内容の全体説明
2. 理論、伴奏付けなどの説明と課題の取り組み方法
3. 演奏実習についての技術、運指、表現などの説明
4. 指導者の模範演奏を聴かせる
5. 授業中に全体説明が必要であったり、次のステップに進める場合など

### 操作

指示「一斉ボタン」を押してランプを点灯させます。



これで、指導者の楽器演奏と声を、全生徒のヘッドホンへ流すことができます。

ヘッドホンに流れる指導者の声の大きさは、「指導者マイクボリューム」で調節することができます。「適ランプ」がときどき点灯する位置がちょうどいい声の大きさの位置です。



### 解除

もう一度、指示「一斉ボタン」を押してランプを消灯させます。

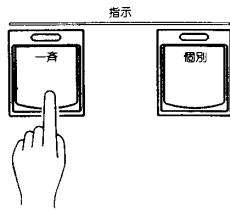
- ◆外部出力がオンになっていると、一斉指示はできません。
- ◆一斉指示の状態の時、生徒からの呼び出しに答えると(16ページのコミュニケーションの項を参照)、その生徒の声も他の生徒全員に送られてしまいます。

## ブロック別指示による学習指導

ブロック別に学習内容を変えて指導したい時にこの機能を使います。

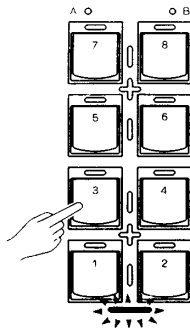
### 操作

①指示「一斉ボタン」を押しながら、



②指示したいブロックの、いずれか一人の「子機選択ボタン」を押します。

「ブロック表示ランプ」が点滅します。



これで、指導者の楽器演奏と声を、そのブロックだけの生徒のヘッドホンへ流すことができます。

### 解除

指示「一斉ボタン」を押してランプを消灯させます。

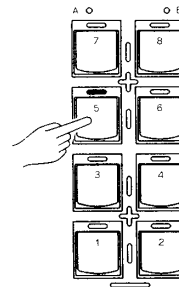
## 個人別学習指導

### 授業展開例

1. 生徒の演奏、課題達成状況を検聴して個別指導する
2. 特定の生徒、グループに模範演奏を聴かせて指導する

### 操作

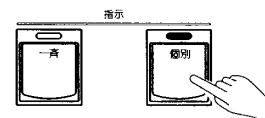
指導する生徒の番号の「子機選択ボタン」を押してランプを点灯させます。



例えば、5番の生徒の場合は、その生徒のブロックの「5」のボタンを押す。

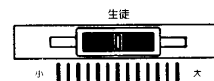
これで、その生徒の演奏と声を聴くことができます。また、他の生徒と合奏中でもその生徒のみの演奏と声が聴けます。

その生徒に指示する時は、さらに指示「個別ボタン」を押してランプを点灯させます。



これで、その生徒と会話もでき、指導者の演奏を聴かせることもできます。

ヘッドホンに流れる生徒の演奏や、声の大きさは、「生徒ボリューム」で調節することができます。



### 解除

もう一度、その生徒の番号の「子機選択ボタン」を押してランプを消灯させます。

指示「個別ボタン」が押されていれば、同時に解除されランプも消灯します。

また、引き続きその生徒の検聴を続けたい場合は、指示「個別ボタン」を押してランプを消灯させます。指導者の指示、演奏のみが解除されます。

## 自動検聴

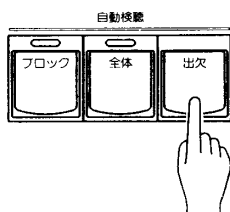
生徒の演奏、課題達成の全体状況を把握したい時にこの機能を使います。

### 操作

#### ①出欠セット

欠席などで使われていない子機をとばして検聴できるようにします。

- ①指示「一斉ボタン」を押して、子機に付いている「CALLボタン」を全生徒に押すように指示します。
  - ②全生徒が押し終わったら、自動検聴「出欠ボタン」を押します。
- ボタンを押している間は、「CALLボタン」を押した生徒の「子機選択ボタン」のランプが点灯します。



ボタンを離すと、指示「一斉ボタン」のランプも消灯し、出席している生徒だけを検聴できるようにセットされます。この時、子機の「CALLボタン」のランプも自動的に消灯します。

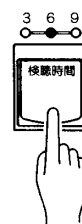
- ◆遅刻の生徒などの対応で、欠席にセットされている子機を出席として扱いたい時は、その子機の「CALLボタン」を押してもらい交信してください。そうすることにより、その生徒の子機は自動的に出席にセットされます。

- ◆自動検聴「出欠ボタン」だけを押せば、押している間だけ出席にセットされている「子機選択ボタン」のランプが点滅し、出席者の確認をすることができます。

#### ②検聴時間のセット

生徒一人当りの検聴時間を3秒、6秒、9秒の中から選べます。

自動検聴「検聴時間ボタン」を押して、希望する秒数のランプを点灯させます。



ボタンを押すたびに順に切り替わります。

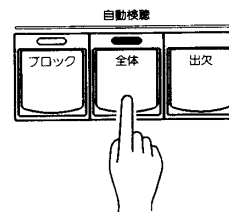
- ◆電源スイッチをオンにした時は3秒にセットされます。

#### ③自動検聴開始

検聴範囲は、全体またはあるブロック(最大8人)のみのどちらでも可能です。

##### <全体の場合>

自動検聴「全体ボタン」を押してランプを点灯させます。



生徒全員の演奏を、セットした秒数だけ次々と聴くことができます。検聴中の生徒は、「子機選択ボタン」のランプの点灯で確認することができ、欠席の生徒は、出欠セットがしてあれば自動的に飛ばされます。

最後の生徒が終わると自動的に解除されます。

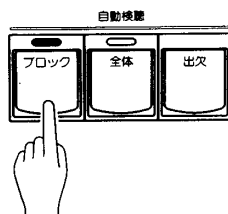
##### 検聴途中で解除したい時は

もう一度、自動検聴「全体ボタン」を押してランプを消灯させます。

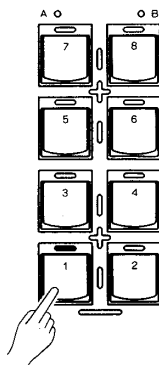


## <ブロックの場合>

①自動検聴「ブロックボタン」を押しながら、



②検聴したいブロックの、いずれか一人の「子機選択ボタン」を押します。



そのブロックの、押された番号の生徒の演奏から、セットした秒数だけ次々と聴くことができ、解除するまでくり返されます。

検聴中の生徒は、「子機選択ボタン」のランプの点灯で確認することができ、欠席の生徒は、出欠セットがしてあれば自動的に飛ばされます。

### 別のブロックの検聴に移りたい時は

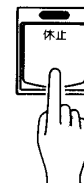
もう一度、自動検聴「ブロックボタン」を押しながら、検聴したいブロックの「子機選択ボタン」をどれかひとつ押します。

### 解除したい時は

自動検聴「ブロックボタン」を押してランプを消灯させます。

### ■現在検聴している生徒の演奏を、続けて聴きたい時は

自動検聴「休止ボタン」を押してランプを点灯させます。



その生徒の演奏を続けて聴くことができます。この状態で、指示「個別ボタン」を押せばその生徒と会話ができます。

### 解除したい時は

もう一度、自動検聴「休止ボタン」を押してランプを消灯させます。次の生徒の検聴に移ります。

指示「個別ボタン」が押されていれば、同時に解除されランプも消灯します。

◆一斉指示の状態の時は自動検聴できません。

◆自動検聴中に生徒からの呼び出しに回答すると、自動検聴は中断します。

回答が終わって解除すれば、中断したところから自動検聴を再開します。

## ペアによるアンサンブル指導

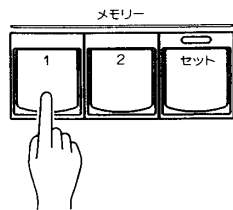
### 2人1組の組み合わせによる授業展開例

1. ピアノの2段譜を右手、左手パートに分けて2台で練習する
2. 4手連弾譜で合奏練習する
3. 伴奏形の練習でメロディーと伴奏に分けて練習する
4. 音色別に2台でアンサンブル練習する

#### 操作

##### <教室全体を一斉にペアにする場合>

メモリー「1ボタン」を押します。(メモリーセットの操作をしていない場合)



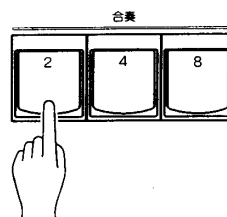
教室の、同一ブロック内の隣合った2人がすべてペアとなり、子機選択ボタン部の「ペア表示ランプ」が点灯します。ペアとなった2人の間で会話ができ、お互いの演奏も聴くことができます。

##### 解除したい時は

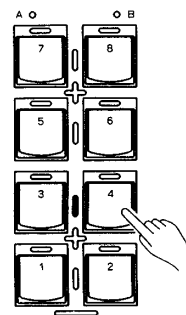
「一斉解除ボタン」を押します。

##### <隣合った任意の生徒同士のペアを作る場合>

①合奏「2ボタン」を押しながら、



②ペアにする生徒のどちらか一方の「子機選択ボタン」を押します。



その生徒と同一ブロック内の隣の生徒とペアが作られ、子機選択ボタン部の「ペア表示ランプ」が点灯します。別の生徒の「子機選択ボタン」を押していけば、次々とペアが作られ、教室内に任意の数だけペアが編成されます。ペアとなった2人の間で会話ができ、お互いの演奏も聴くことができます。

##### 解除したい時は

もう一度、合奏「2ボタン」を押しながら、解除したいペアのどちらか一方の「子機選択ボタン」を押します。一度に全部解除したい時は「一斉解除ボタン」を押します。

◆「一斉解除ボタン」を押すと、メモリー内容、出欠セット以外の設定は、電源スイッチをオンにした時と同じ状態になります。


次の楽曲をペア全員に合奏させてみてください。


*Allegretto*      可愛いオースチン

右側 

左側 

*Moderato*      スワニー河

右側 

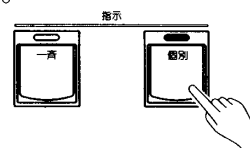
左側 

右側 

左側 

指導者は、各ペアを検聴し各自の楽器の音量バランスなどについて指導します。

③指導する場合は、指示「個別ボタン」を押してランプを点灯させます。



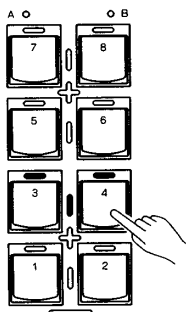
その2人の生徒と会話もでき、演奏に加わることもできます。

### 操作

①「合奏モニターボタン」を押しながら、



②検聴、指導するペアのどちらか一方の「子機選択ボタン」を押します。



これで、その2人の演奏と声を聴くことができます。

### 解除

もう一度、「合奏モニターボタン」を押しながら、解除したいペアのどちらか一方の「子機選択ボタン」を押してランプを消灯させます。

指示「個別ボタン」が押されていれば、同時に解除されランプも消灯します。

また、引き続きペアの検聴を続けたい場合は、指示「個別ボタン」を押してランプを消灯させます。指導者の指示、演奏のみが解除されます。

## 4人合奏によるアンサンブル指導

### 4人合奏による授業展開例

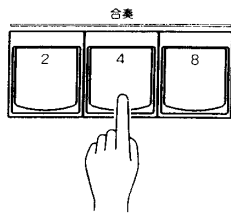
1. 4パートのアンサンブル譜の練習
2. 4手連弾の教材を4人の生徒が1手パートずつ演奏する
3. 3VOICEのメロディーと2段ピアノ譜の練習
4. 理論、作曲の授業の時、アンサンブルで書かれた曲の音出しと響きの確認

教室での4人合奏の配置は、それぞれのブロックごとに、1, 2, 3, 4番 / 5, 6, 7, 8番の2組ずつ編成される形になります。

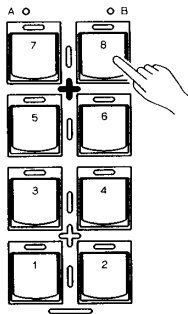
### 操作

#### <任意に4人合奏グループを作る場合>

- ①合奏「4ボタン」を押しながら、



- ②グループにしたいブロック(1~4または5~8)の、いずれか一人の「子機選択ボタン」を押します。



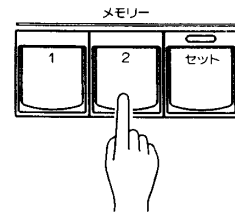
その生徒を含めた4人の生徒でグループが作られ、子機選択ボタン部の「グループ表示ランプ」が点灯します。別の生徒の「子機選択ボタン」を押していけば、次々とグループが作られ、教室に任意の数だけ4人グループが編成されます。グループとなった4人の中で会話ができ、お互いの演奏も聴くことができます。

#### 解除したい時は

もう一度、合奏「4ボタン」を押しながら、解除したいグループのいずれか一人の「子機選択ボタン」を押します。一度に全部解除したい時は「一斉解除ボタン」を押します。

#### <教室全体を一斉に4人合奏グループにする場合>

メモリー「2ボタン」を押します。(メモリーセットの操作をしていない場合)



教室の全てのブロックが、2組の4人合奏グループに編成され、子機選択ボタン部の「4人グループ表示ランプ」が点灯します。グループとなった4人の中で会話ができ、お互いの演奏も聴くことができます。

#### 解除したい時は

「一斉解除ボタン」を押します。

- ◆「一斉解除ボタン」を押すと、メモリー内容、出欠セット以外の設定は、電源スイッチをオンにした時と同じ状態になります。

次の楽曲を、幾組か4人合奏グループを編成し、アンサンブルさせてみてください。

生徒は1人1パートを弾きます。例えば、ソプラノを1番の生徒、アルトを2番の生徒、テナーを3番の生徒、バスを4番の生徒が弾きます。1番の生徒が首や体の動きでテンポを表現しリードしながらアンサンブルを行います。各楽器の音量はお互いに考えさせたり、いくつかの音色を組み合わせたりするのも良いでしょう。

## 愛の花 (ドイツ民謡)

Andante

ソプラノ  
アルト

テナー  
バス

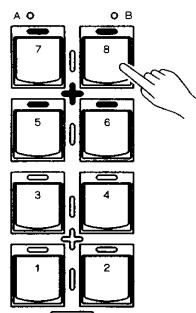
指導者は、各グループを検聴し各自の楽器の音量バランスなどについて指導します。

### 操作

①「合奏モニターボタン」を押しながら、

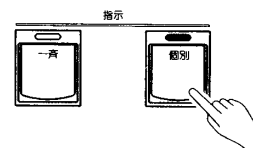


②検聴、指導するグループのいずれか一人の「子機選択ボタン」を押します。



これで、そのグループの演奏を聴くことができます。

③指導する場合は、指示「個別ボタン」を押してランプを点灯させます。



その4人グループの生徒と会話もでき、演奏に加わることもできます。

### 解除

もう一度、「合奏モニターボタン」を押しながら、解除したいグループのいずれか一人の「子機選択ボタン」を押してランプを消灯させます。

指示「個別ボタン」が押されていれば、同時に解除されランプも消灯します。

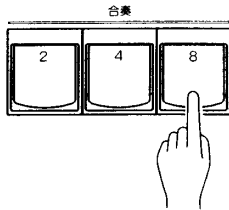
また、引き続きグループの検聴を続けたい場合は、指示「個別ボタン」を押してランプを消灯させます。指導者の指示、演奏のみが解除されます。

## 8人合奏によるアンサンブル指導

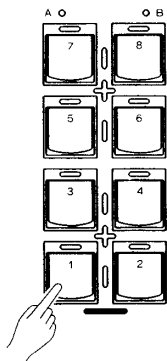
ペアや4人合奏と同じように、8人グループを編成することができます。

### 操作

- ①合奏「8ボタン」を押しながら、



- ②グループにしたいブロックの、いずれか一人の「子機選択ボタン」を押します。



そのブロックの8人の生徒でグループが作られ、子機選択ボタン部の「ブロック表示ランプ」が点灯します。別のブロックの「子機選択ボタン」を押していけば、次々とブロックでグループが作られ、教室内に任意の数だけ8人グループが編成されます。グループとなった8人の間で会話ができ、お互いの演奏も聴くことができます。

### 解除したい時は

もう一度、合奏「8ボタン」を押しながら、解除したい8人グループのいずれか一人の「子機選択ボタン」を押します。一度に全部解除したい時は「一斉解除ボタン」を押します。

- ◆「一斉解除ボタン」を押すと、メモリー内容、出欠セット以外の設定は、電源スイッチをオンにした時と同じ状態になります。

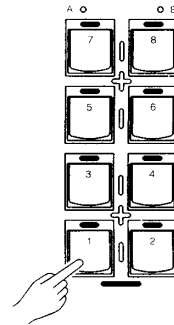
指導者は、各ブロックを検聴し各自の楽器の音量バランスなどについて指導します。

### 操作

- ①「合奏モニターボタン」を押しながら、

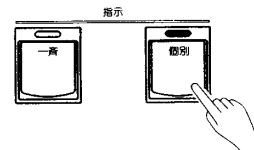


- ②検聴、指導するブロックのいずれか一人の「子機選択ボタン」を押します。



これで、そのブロックの演奏を聴くことができます。

- ③指導する場合は、指示「個別ボタン」を押してランプを点灯させます。



そのブロックの8人の生徒と会話もでき、演奏に加わることもできます。

### 解除

もう一度、「合奏モニターボタン」を押しながら、解除したいグループのいずれか一人の「子機選択ボタン」を押してランプを消灯させます。

指示「個別ボタン」が押されていれば、同時に解除されランプも消灯します。また、引き続きグループの検聴を続けたい場合は、指示「個別ボタン」を押してランプを消灯させます。指導者の指示、演奏のみが解除されます。

## 音素材

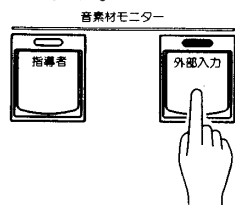
音素材A(指導者の楽器の音)または音素材B(外部入力音)を生徒に聴かせて、音素材との合奏などを指導することができます。各ブロック単位で音素材を流すことができ、音素材Aと音素材Bの両方を流すことも可能です。

### <音素材のモニター>

音素材の音をヘッドホンで聴くことができます。生徒に流す前に音量の確認をし、調節します。

#### 操作

音素材モニター「指導者ボタン」または「外部入力ボタン」のうち、モニターしたい音素材のボタンを押してランプを点灯させます。



指導者の音量は、指導者用楽器の「MASTER VOLUME」で調節することができます。

外部入力の音量は「外部入力ボリューム」で調節することができます。



両方の音を聴く時は、両方のボタンを押してランプを点灯させてください。

◆電源スイッチをオンにした時は、音素材モニター「指導者ボタン」はオンの状態でランプが点灯します。

#### 解除

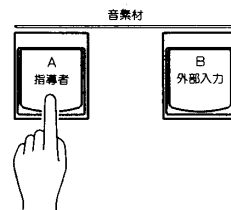
もう一度、音素材モニター「指導者ボタン」または「外部入力ボタン」を押してランプを消灯させます。

### <音素材を選ぶ>

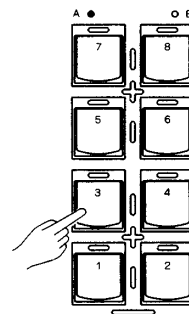
#### 操作

★音素材モニターの操作をして、音量を確認します。

①音素材「A指導者ボタン」または「B外部入力ボタン」のうち、流したい音素材のボタンを押しながら、



②音素材を流すブロックの、いずれか一人の「子機選択ボタン」を押します。



そのブロック全員の生徒に、指定した音素材が流れ、子機選択ボタン部にあるAまたはBの「音素材表示ランプ」が点灯します。

#### 解除

もう一度、音素材「A指導者ボタン」または「B外部入力ボタン」を押しながら、解除したいブロックのいずれか一人の「子機選択ボタン」を押してランプを消灯させます。

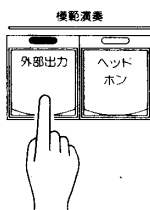
## 模範演奏

### <外部スピーカーで鳴らす>

指導者のヘッドホンに流れている音(モニター中の、生徒の演奏と音素材)をそのまま外部スピーカーで鳴らすことができます。

#### 操作

模範演奏「外部出力ボタン」を押してランプを点灯させます。



自動的に指導者と生徒全員のマイクがオフになります。

外部スピーカーに流れる音は「外部出力ボリューム」で調節することができます。



#### 解除

もう一度、模範演奏「外部出力ボタン」を押してランプを消灯させます。

### 指導者の演奏も同時に聴かせたい時は

音素材モニター「指導者ボタン」を押してランプを点灯させます。

◆指示「一斉ボタン」がオンになっていると、外部出力はできません。

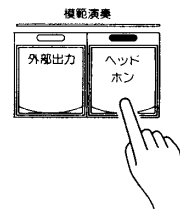
### <生徒のヘッドホンに流す>

指導者のヘッドホンに流れている音(モニター中の、生徒の演奏、会話と音素材)を生徒のヘッドホンに流すことができます。

ある生徒またはグループの演奏を他の生徒に聴かせるといった使い方などができます。

#### 操作

模範演奏「ヘッドホンボタン」を押してランプを点灯させます。



#### 解除

もう一度、模範演奏「ヘッドホンボタン」を押してランプを消灯させます。

### 指導者の演奏も同時に聴かせたい時は

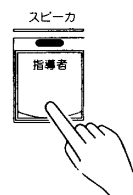
音素材モニター「指導者ボタン」を押してランプを点灯させます。

### <指導者用楽器のスピーカーで鳴らす>

指導者の演奏を、その楽器本体のスピーカーから流すことができます。

#### 操作

スピーカー「指導者ボタン」を押してランプを点灯させます。



#### 解除

もう一度、スピーカー「指導者ボタン」を押してランプを消灯させます。



## メモリー

現在の合奏編成や音素材の選択などの設定を2種類までメモリーすることができます。

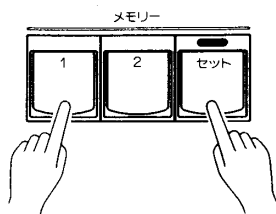
メモリーしておけば、別の編成をした後でもすぐに前の状態に戻すことができ便利です。

### 操作

★各設定を任意に行っておきます。

先にメモリー「セットボタン」を押しながら、メモリー「1ボタン」または「2ボタン」のうち、メモリーする方の番号のボタンを押します。

(この時ランプが点灯していることを確認してください。)



### 呼び出し

再現したい設定がメモリーされている方のボタンを押します。

- ◆「一斉解除ボタン」を押してこの設定を解除しても、メモリー内容は消えませんが、電源スイッチをオフにした時点で消えます。
- ◆新しい設定をメモリーし直すと、前の設定は消えます。
- ◆電源スイッチをオンにした時は、メモリー1には全員ペア、メモリー2には全員4人合奏グループがセットされており、音素材の選択は、どちらにもセットされていません。
- ◆外部入力や外部出力などの音量調節の設定をメモリーすることはできません。

## コミュニケーション

質問などのある生徒の呼び出しに答えて、個別またはその生徒のいるグループ全員に指導することができます。

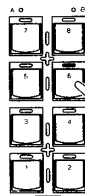
### 操作

- ①生徒が子機のCALLボタンを押して指導者を呼ぶと、本機の「子機選択ボタン」のその生徒の番号のボタンのランプが点滅します。



- ◆たくさんの生徒から呼び出しがあっても、いちばん先にCALLボタンを押した生徒のランプしか点滅しません。

- ②点滅している「子機選択ボタン」を押して呼び出しに答えます。呼び出した生徒が合奏グループ編成されていると、そのグループ全員と会話できます。



ランプが点灯に変わり、指示「個別ボタン」のランプも点灯します。

- たくさんの生徒から呼び出しがあった場合、交信中は、応答順番待ちの生徒のランプがすべて点滅しています。交信を解除すると、順番待ちの中でいちばん先にCALLボタンを押した生徒のランプだけの点滅に変わります。

### 解除

もう一度、呼び出した生徒の番号の「子機選択ボタン」を押してランプを消灯させます。合奏グループとの会話になった時は、「合奏モニターボタン」を押しながら、呼び出した生徒のグループのいずれか一人の「子機選択ボタン」を押してランプを消灯させます。

- ◆交信が終わっても、解除の操作をしなければ、応答待ちの任意の生徒のボタンを押して呼び出しに答えることができます。この場合は、交信した生徒以下の生徒の順番がくり上がります。次の生徒からの呼び出しに答えると、前の生徒は自動的に解除されます。
- ◆生徒からの呼び出しが多い場合は、一斉指示を行うと良いでしょう。

# 仕様

	32人用	48人用	64人用
電源	AC100V 50/60Hz		
消費電力	45W	65W	85W
外形寸法	間口:442mm 奥行:320mm 高さ:792mm		
重量	28.5kg	30.0kg	31.5kg

# アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

- 本機の保証は、保証書によりご購入から満1ヵ年です。  
(日本国内のみ有効)
- 保証期間の1ヵ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記、お近くのサービス網苑お問い合わせください。

## ■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、お買い上げ店にご連絡ください。責任を持って修理調整をいたします。

## ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点

〔修理受付および修理品お持込み窓口〕

- 北海道サービスセンター 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内  
TEL. 011-512-6108
- 仙台サービスステーション 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7  
仙台卸商共同配送センター3F  
TEL. 022-236-0249
- 首都圏サービスセンター 〒211-0025 川崎市中原区木月1184  
TEL. 044-434-3100
- 浜松サービスステーション 〒435-0048 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内  
TEL. 053-465-6711
- 名古屋サービスセンター 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2  
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F  
TEL. 052-652-2230
- 大阪サービスセンター 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内  
TEL. 06-6877-5262
- 四国サービスステーション 〒760-0029 高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸高松店内  
TEL. 087-822-3045
- 広島サービスステーション 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14  
TEL. 082-874-3787
- 九州サービスセンター 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL. 092-472-2134

〔本社〕カスタマーサービス部 〒435-0048 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内  
TEL. 053-465-1158

〔管教育楽器に関するお問い合わせ窓口〕

- 北海道支店 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内  
TEL. 011-512-6122
- 仙台支店 〒980-0804 仙台市青葉区大町2-2-10  
TEL. 022-222-6146
- 東京支店 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11  
TEL. 03-5488-1672
- 名古屋支店 〒460-8588 名古屋市中区錦1-18-28  
TEL. 052-201-5166
- 大阪支店 〒542-0081 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館  
TEL. 06-6252-5341
- 九州支店 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL. 092-472-2155
- 管教育楽器事業部 〒430-8650 浜松市中沢町10-1  
国内営業部 TEL. 053-460-2405

※記載されている事項は予告なく変更されることがあります。



---

ヤマハ株式会社